

まつお新聞

発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

清水区

ワークショップで 影絵劇に挑戦

「いい大人形劇フェスタ2015」が8月4日から9日にかけて開催され、松尾地区は7日に公民館ホール、8日に上溝集会所と毛賀区民会館、9日は新井区と清水区のコミュニティ消防センターで公演された。



《上溝集会所》

腹話術スリー・ピースによる6話が上演され、終了後は、手作りのお昼でもてなし交流会を行った。

《毛賀区民会館》

東野人形劇あかねによる「3枚のおふだ」と緑ヶ丘中学校人形劇部みどり座による「プラメモ」の上演と、アトラクションとして緑ヶ丘中学校吹奏楽部によるヒットメドレーの演奏が行われた。

《新井コミュニティ消防センター》

前日の毛賀公演に続き、緑ヶ丘中学校人形劇部みどり座による「プラメモ」と台湾からの新興閣掌中劇団による「孫悟空大戦紅孩児―西遊記より―」が上演された。

《清水コミュニティ消防センター》

清水区会場では朝8時から事前募集した児童10人が、ワークショップで影絵劇「大きなカブ？」に登場する人形を自由な発想で設定し、作り方を影絵劇団夢屋のスタッフに教わりながら真剣に作った。できあがった人形でリハーサルを1回行い、本番に臨んだ。

10時から影絵劇団夢屋による3話上演の後「大きなカブ？」が上演された。会場のスタッフを含めて約90人の観客は、独創的な人形



思いどおりにできるかな

の登場に皆笑ったり感心したりしていた。

同劇団代表の佐久間久子さんは「子供たちは控え目だったが、ちゃんとやろうという気になっていて良かった。また希望があればやりたい」と話した。

《松尾公民館ホール》

デフ・パペットシアター・ひとみによる「一寸法師」が上演され、終了後はお楽しみ交流会が開かれた。



「えーい やー」果敢に立ち向かう一寸法師

出張サイエンス

重心が分かれば何でも回る

夏休みのお楽しみ会での体験学習として、5地区のPTA支部などから依頼を受けた松尾サイエンス出張サイエンスを行った。

8月1日、城地区では約90人の小学生が、サイエンスショーで物の重心の取り方を学び、厚紙を使って「へんてここま」を作った。

また、スタッフが特別に作った大きな日本列島の形をしたコマを、電気ドリルを使って回して見せた。

8月2日は、清水・サンコーポラス地区で小学生約40人が、代田区では約80人がそれぞれ「へんてここま」を作って楽しんだ。

8月9日は水城地区の小



重心がとれているかな？確認する子供とスタッフ

まつお新聞記者のつばやき 受け継がれる『まけるな』精神

今年度、緑ヶ丘中学校13運動部すべてが南信大会に出場した。快挙である。

中学校の3年間は、人生の中で最も充実し色濃いつ時代だ。運動部で頑張る子供たちにとって、中体連というのは、特に3年生はそれまでの集大成ともいえるファイナルステージだ。我が子も、練習試合では一度も勝てなかった相手に南信大会出場を賭けた試合で見事勝利を収め、粘り強さを見せてくれた。



13運動部すべてが南信大会に出場

「まけるな」だ。好成績を収めた要因と強く思うのは自分だけだろうか。数年前より、過度な練習の負担、疲労や睡眠不足による学力低下が問題となっている。学校管理とはいうものの、社会体育のあり方については曖昧で、責任の所在もよくわからない。しかし、どんな状況下に置かれても、子供たちはがむしゃらにがんばっている。

地域で、スポーツ技術向上を目指し、バックアツプして、松尾から未来のオリンピック選手が生まれたいら素晴らしい。(K)

近年、松尾小学校は、相撲に力を入れている。全国大会で優勝するなど見事な結果も残している。そこで思い出すのが学校目標にある

松風

松尾地区市民運動会が回を重ね今年で80回目を迎えるという▼故塩澤正人元公民館長が「地区民が一堂に会して催される行事として、これ程長い歴史と大多数の区民が参加する運動会は飯田市は元より長野県内にも誇れることである」と言って憚らなかつたのも納得できる▼正に継続は力なりであるが、その時々々に企画・運営に携わった人々の並々ならぬ努力の上に成り立っていることも忘れてはならない▼昔前は何が何でも勝たなければならぬ勝利第一主義が主流で、一時物議を醸したこともあったと聞くが最近はその時代の流れと共に競技内容も改まり運動会を誰もが楽しめる構成へと変わりつつあるのも確かだ▼大いなるマンネリと揶揄されても松尾にとって欠くことのできない行事である以上各分館が抱える事情を考慮しつつ、この先の時代にも充分通用する内容の運動会へと発展してほしいと思う▼この号が発刊された後に今年の運動会が開催となるが、80回目を節目でもあるので特別なプログラムがあるかと期待される。せっかくなので、区民の皆さん「まつお新聞」を手にも、松尾の人口当てクイズに参加してほしいかが

松尾の人口
男子 6,156人
女子 6,889人
計 13,045人
世帯数 4,919世帯
8月末現在

城の八間門



久井区の東側、上溝区と接する所に位置する羽根庄の門は、明治4年に飯田城から今の木下家に払い下げられ移築した門です。2階建ての櫓門で、左右に

常盤台区 清掃ボランティアの会



「常盤台清掃ボランティアの会」は、常盤台区から八幡町区に下る坂道と鼎下山に向かう階段を、月3回、約1時間清掃しています。この坂道や階段を、常盤台区民はもとより松尾小学校と緑ヶ丘中学校に通う生徒や高校生も利用しています。会員は「子や孫たちの通学路を美しく」の思いで、清掃活動に汗を流し勤しんでいます。

昔から「嫁に行くなら毛賀・島田」と言われたように、市内でも有数の住み良さを誇るのが松尾地区。他地区から移り住んで来た人はその良さをしばしば口にしますが、元々松尾に住む人々はまだ実感していないかもしれません。実は普段は気付かない良いところが松尾には沢山あるようです。古くは江戸時代の『島田記』（史学会が復刻）、近年では『松尾村誌』（昭和57年発行）はじめ『写真集 松尾の昭和史』（平成2年 松尾公民館発行）など、良いところを記録に留める作業が先人たちの手によって行われてきました。そして今、世界遺産への登録など次世代に受け継ぐべき文化を守る運動は時代のトレンドと言っても過言ではありません。古き良きものを見直すとともに、今まさにリアルタイムの良きものにも注目して、まずは自分たちの身近な所から「いいところ」を探してみませんか。広報委員会企画「松尾のいいところ探し」第1弾は各区からいいところ、いいもの、いい人を選出してもらいました。

※明治7年、島田村と毛賀村が合併して松尾村になりました。



松尾公民館は、県下で最初に設立された公民館です。

松尾には上溝、久井、水城、新井、清水と水にちなんだ地名が多くあり、昔から沢山の泉が湧いておりました。農協醸造部も水城にあり、味噌造りの拠点でもありました。宅地開発でその多くは枯れてしまいましたが、今でも残っている所もあります。もう一度清水を探してみたらどうでしょう。昔の風景は良く覚えております。



弁天巖島神社

上溝区 前方後円墳が5基分布



横穴式石室

上溝天神塚古墳は、墳長45m後円部径25m、同高5m、横穴式石室があります。他におかん塚古墳、上溝4号古墳、姫塚古墳、羽場獅子塚古墳があります。

水城区 お立符の桜



春の訪れを告げる「お立符の桜」として人々に愛され、今でも仰ぎ見る人たちの心をひきつけています。

古墳上にどっしりと立つ推定樹齢350年以上の老桜は、桃白色を咲かせるエドヒガンザクラで、塚に祀られた霊を慰めようと植えられたとも言われ、かつては水城地区のどこからでも眺めることができました。

見寺お堂



城集会所西にある清見寺は、尼僧の前田瑞穂住職が平成22年2月に101才で永眠し、住職が不在となりました。寺の建物は老朽化が進み、取り壊されて、専照寺に返却される

寺所区 寺所獅子舞、松林囃子



寺所区には、「屋台仕立の舞楽系獅子舞」と笛・太鼓・三味線・鼓・大皮で構成する「松林囃子」があり、区民の無病息災・五穀豊穡を願い、明治初期から130年余り区民の絆で伝承されています。他に類を見ない彫の深い伝統的な獅子頭が、地面を這う勇壮な動きや、優雅な松林囃子、暴れる獅子を「しずめたり」、「あやしたり」する天狗の所作が特徴です。

新井区 文化財の保護に努める



弘法様札所

新井区に受け継がれてきた伝統的な無形文化財（4つの祭事）とそれにまつわる有形文化財をはじめ、新井区の歴史をつなぐ記録や写真、古文書など共有の文化財の発掘、指定、管理を行っています。後世に物心の伝承を行うことを目的として、『新井区の有形・無形の文化財の保護伝承に関する細則』を設け、文化財保護に取り組んでいます。

代田区 代田獅子囃子保存会



代田獅子囃子は約140年の歴史を持ち、屋台と獅子が幌で連携しているのが特徴です。定期的な練習で伝統芸能として続いています。また、獅子の前で小学生の女子が踊る稚児踊りも見ごたえがあります。地元の子供たちが2年ごとに入れ替わり、愛らしい踊りを受け継いでいます。

八幡町区 八幡町の史跡と文化財



八幡町区の旧道沿いにある鳩ヶ嶺八幡宮は、秋葉山詣での起点です。八幡様前の丁字路には、60坪の石の道標（市有形文化財指定）があります。八幡町区は、昭和の初めまで商店が軒を並べ、荷馬や運送馬車で賑わいました。そんな名残の馬繋ぎ石や、防火壁「うだつ」のある町家、江戸時代の薬屋の建物など、商家建築が今も残っています。

久井区 旧飯田



4間すつの長屋があるので八間門と呼ばれています。飯田市の文化財としての指定を受け、飯田の歴史を知る上では欠くことのできない建造物となっています。散歩がてら、一度は見学してみてください。

毛賀区 毛賀沢桜堤防とホタル



毛賀区では毛賀沢桜堤防の清掃や整備をして、ホタルの住む沢を復活させ、毎年ホタル観賞会を行っています。歩道にもライトを点け、観賞へ向かうことができますように整備しました。また桜やハナモモの季節も人々を楽しませています。朝夕の散歩やランニングのコースとしても、区民の憩いの場となっています。

『残照の地』『大地・牛哀歌』など、多くの作品で有名な仲村進氏は松尾出身です。松尾公民館には作品のひとつ「春山牧牛」が所蔵されています。

戦後の名曲『あゝモンテンルパの夜は更けて』の作詞者、代田銀太郎氏の碑があります。

清水区 金山さまとお堂



金山さまは、清水区用水路の起点となる重要な場所であり、多くの祭神が祀られています。地芝居や地狂言が盛んな頃に建てられたお堂は、正面の2本の柱が取り外せ、観客が見やすいように造られています。以前は講や諸祭が行われていましたが、現在は7月に津島さまの祭礼のみが盛大に行われています。

水がいいところでは、農作物もおいしく育ちます。れんげ米をはじめ、松尾地区にはトマトやイチゴ、キュウリにほうれん草など、米や野菜、果物などの生産者が大勢おられます。直売所でも人気で、すぐ売り切れてしまいます。

明区 初代神官は明区出身



鳩ヶ嶺八幡宮の初代神官が明の人でした。そのためお祭りには、鳥居の幟旗を明区で立てていました。いつからか、1本は八幡町区で、1本は明区で立てています。

八幡宮の大鳥居を起点とする秋葉街道の「鳥田の辻」は、昔「下馬の辻」と呼ばれ、どんな偉い人も、馬から降りて通っていたそうです。

城区 清



予定でありましたが、城区民から「残してほしい」と強い要望があり、平成26年4月に「清見寺お堂」が新築されました。本尊の石仏「伝十一面観音座像」等が安置されています。

公民館の主な行事予定
(10月～12月)

- 【10月】 松尾地区市民運動会
- 【11月】 松尾バレーボール連盟後期大会
- 【12月】 公民館ホーウミガメの「メ」サミーンの大冒険
- 7月18日に予定していたラフティング体験は前日までの豪雨による増水のため中止となった。

ろいば

- 14日(土) 松尾サイエンススクール
- 15日(日) 飯田市女性バレーボール大会
- 22日(日) 分館対抗ふらばぐるバレー大会
- 23日(月) 公民館大掃除
- 【12月】
- 5日(土) 松尾サイエンススクール
- 6日(日) 第13回松尾踊ってみよう会

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時
本のリクエストも受け付けています。

市政懇談会

松尾のさらなる振興のために
市道1-53号線(産業道路)を提案

松尾地区市政懇談会が7月21日松尾公民館で開催され170人が参加した。市側から市政経営の方向についての説明、緑ヶ丘中学校生徒と松尾小学校保護者からの意見発表に続き、松尾地区まちづくり委員会会長より「市道1-53号線(産業道路)の活用に関する提案」がされた。

一部で牧野光朗飯田市長から市政経営についての報告がされ、2部の意見発表では、緑ヶ丘中の赤羽竜志さん・胡桃澤優花さんから「飯田ならではの昆虫食をPRする」松尾にフラワー道路を作る」など松尾(飯田)を元気にする提案や、「通学路に街灯の増設を」といった要望が発表された。

また松尾小PTA副会長の島岡方子さんからは「飯田に4年制大学があれば定住率が増え活性化が図れると思う」との意見があった。続いて小木曾博人松尾地区まちづくり委員会会長より「松尾地区のさらなる振興のために」と題して、バ



「これらの道路は国道や県道であるため、国や県と協議を重ね、将来を見据えて改善に取り組みたい」との回答があった。



昆虫食で飯田を元気に

イバス道路新設の提案が出された。小木曾会長は「松尾の竜水地区は工場や物流拠点が集積した地域で、物や人の輸送ルートを確保することが必須であるが、主要道路である国道151号線や256号線の幅員が狭く、大型車輛の避け合いにより渋滞が発生しているのが現状である。ついては対策として、竜水地区の市道1-53号線と国道153号線を接続するバイパス道路を新設し、産業道路と生活道路を分けることを提案したい。道路新設により竜水地区の物流が活発になればさらなる産業振興が期待でき、将来的には三遠南信自

歴史を学ぶ講座 第1弾
悲惨な後世に
伝える責任

松尾になぜ中国帰国者が多いかを学習する目的で松尾公民館が企画した「歴史を学ぶ講座」第1弾は8月30日に開かれ、一昨年の開館以来7万人の入館者を記録する満蒙開拓平和記念館を訪れた。同館職員の説明を受けながら、ビデオや展示資料を約1時間半に渡って見学。松尾からも285



満蒙開拓の悲惨さを知り、日本の現状を慮る

人が開拓団として入植したこと、青少年義勇軍6人が松尾に割り当てられ強制的に入れられたこと、画家仲村進さんの絵の原点も義勇軍で渡った満州にあることなど、松尾にからめた解説

を熱心に聴き入った。参加者14人の中には、親戚が、隣家が、あるいは友人が体験者という人もいて「当人は多くを語らないので、これまで断片的な知識しかなかったが、背景がよく理

解できた二国策といえども個々の意見を持つことが大事と痛感した」と話した。公民館では今後「第2弾として中国帰国者の体験談を聴く機会を持ちたい」としている。

松尾の子どもは松尾で育つ
学校支援ボランティア
7年目に

松尾小学校では平成21年度から開始した「学校支援ボランティア事業」が7年目に入っている。全学年で行う朝の読み聞かせ、家庭科のミシン学習、高学年が行うクラブ活動の3つの学習を、地域の人が講師とし



篠笛クラブ



折り紙切り絵クラブ

て教師と共に指導に当たるもので、20あるクラブ活動のうち、伝統工芸・篠笛・郷土料理など、13のクラブで講師を務めている。地域の人が講師を務める背景には中央教育審議会の「学校がその教育活動を展開するに当たっては、もっと地域の教育力を生かしたり、家庭や地域社会の支援を受けること」への積極的姿勢の必要性が指摘され、そのために「地域の人々や保護者に学校ボランティアとして協力してもらう」ことが提案されたことがある。こ

れを踏まえ、教育活動において、地域に人材を募って活動していく機会を設けた学校側と「地域の子どもは地域で育てる」ための教

いざという時のために！
8月30日飯田市地震総合
防災訓練が行われた。松尾



着々と工事が進んでいる

まちづくり委員会は、松尾地区民からの要望を集約する等、慈光松尾保育園の跡地利用方法について3年間検討を重ねた結果、公民館駐車場、小さな子供も遊べる公園や松尾小学校児童

慈光松尾保育園跡地
土俵・公園遊具完成間近



本部開設！

等のための土俵の整備を飯田市に要望してきた。松尾地区の新たな憩いの場として誰もが親しみやすく、かつ、場所を認識できるようにということと公園の名称を「城公園」に決定した。4月より公園整備工事が着工されており、全体の竣工予定が10月上旬、竣工式は10月中をめどに。公園の構成は、駐車場・広場、公衆用トイレ、遊具(複合遊具・ブランコ・スイング遊具)が配置され、北東端部の一段低くなったエリアに土俵が設置される見込み。なお土俵及び屋根づくりの全工程において、木曾相撲連盟より指導を仰ぐこととなった。

第7回 松尾地区地域安全大会 開催のお知らせ
日時 11月28日(土) 13:00~16:00
場所 松尾公民館ホール
内容 オープニング(松尾小学校合唱部)
講演「(仮)ネットに潜む危険」(セーフティーネット総合研究所 南澤信之氏)
ミュージカル交通安全教室(とらふいつく sisters)
特殊詐欺防止寸劇(井川駐在夫妻)